

中村高校だより

第 257 号

愛知県立中村高等学校PTA
名古屋市中村区菊水町1-2-18
TEL 052-411-7760



今、何ができるのか

PTA会長 木村幹雄

PTA会員の皆様には、日頃よりPTA活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。令和元年度PTA会長を務めさせていただきます木村と申します。

PTAは何をやっているのかよく分からないという方もみえると思います。また、お仕事やご家族の都合で、PTA活動には積極的に参加できないという方もみえると思います。今年度のPTA事業としては、研修旅行、懇談会、文化祭（バザー・模擬店）、大学見学会、会報の発行などを予定しております。何かひとつでも、関わっていただければ幸いです。

本校は開校から70年近くたち、多くの設備が老朽化しています。また、部活動の設備も十分とはいえません。PTAとしては、子どもたちの高校生活が、より良いものとなるよう支援して参ります。

現在、学校や同窓会とともに、ふるさと納税の仕組みを利用した「部室改築募金」を行っております。PTA会員の皆様方にも是非ご協力をお願いいたします。来年には着工し、早期の完成を目指します。現在だけではなく、将来の中村高校の生徒のためを考えて取り組んで参ります。

PTAの役員になったことにより、もう一つの母校を手に入れたような気がしています。今、自分に何ができるのかを考え、一年間、頑張ってお参りたいと思います。今後とも、PTA活動により一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

共感し合える親子の対話を

校長 渡邊 修

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご支援をいただき、厚くお礼を申し上げます。さて、1年生も入学して3か月が過ぎ、新しい人間関係づくりや授業の学習進度の早さに戸惑いながらも徐々に高校生活にも慣れ、学校に自分の居場所を見つけて充実した毎日を送っていることと思います。一方で、1年生の保護者からは、毎年7月末のPTA懇談会で「親はどこまで口を出せばいいのか判断が難しい」という声が多数聞こえてきます。青年期を迎えた子どもは様々な権利を主張するようになり、時に親を批判するなど自立への欲求が強くなってきます。過度に自信を持つこともあれば、些細なことで傷つくこともある。そんな子どもの考えや主張を“適度に”受けとめながら、親子関係や家庭のルールに取り入れていくことが必要になってきます。しかし、この“適度に”というのが難しい。

昨年度のPTA理事研修会で、愛教大の森川先生からその極意を2つ伺いました。まずは、親自身が楽しみや生きがいを見いだすこと。もうひとつは、共感し合える親子の対話だそうです。会話で始まり説教で終わるような対話ではありません。時間は短くても、バラティエーに富んだ内容で、共感をともなうやりとりが大切です。保護者の方々も学校の一員としてPTA行事にご参加いただき、自分自身が楽しみながら話題の幅を広げてみてはいかがでしょうか。このPTA広報誌やHPの校長室だよりもご活用いただければ幸いです。

高校の3年で子どもたちは驚くほど成長しますが、同時に親も家庭も成長を続け、やがて親子が互いを一人の人間として認めながら仲間のような対等な関係になっていく。そんな近い将来を、我々学校と共にめざしてみようではありませんか。

新 転 入 職 員 紹 介



上梓
杉藤充彦

武藤光祐 米谷幸平 野村貴大 篠塚洸太郎 太田和代 安保伸子 国枝由美子 村上晴一
高崎俊司 松田杏美 宇野京佳 佐野好宏 村上規久子 山口有里子 深見 稔

地歴・公民 **佐野好宏** 先生（熱田高校より）
伝統とは先輩から受け継ぎ、後輩へ継承していくことで作られます。中村高生が代々先輩から受け継いできた教育力に出会うことを、教頭として、教員として、また、第30回卒業生として、楽しみにしています。

国 語 **村上規久子** 先生（刈谷東高校より）
予備校の講師としての数年間、岐阜県の教諭としての数年間（岐阜県出身）、そしてこの愛知の教諭としての数年間、私は高校卒業以来ずっと国語を学んでいます。きっとこれからも追いかけます。ちっとも振り向いてくれませんか。先の長い旅になりそうです。みなさん、一緒にいかがですか？

国 語 **野村貴大** 先生（新規採用）
この度、新任として中村高校に参りました。初めて赴任する高校、初めての授業、初めての部活動顧問と、入学したての一年生のように不安と緊張で一杯です。ですが、これからどんな日々が流れてゆくのか期待でも一杯です。早く仕事に慣れ、自分らしく仕事を全うできたらと思っています。よろしくお願いいたします。

数 学 **松田杏美** 先生（新規採用）
すれ違うたび自然と挨拶をしてくれる生徒。毎日とても気分よく生活ができ、素敵な雰囲気だなと感じます。まだまだ分からないことだらけですが、今の私ができる精一杯を尽くしていきます。これからよろしくお願いいたします。

理 科 **宇野京佳** 先生（新規採用）
本年度より新任として中村高校に赴任することとなりました。毎日があっという間に過ぎていますが、早く慣れ、生徒との時間を大切に過ごしたいと思っています。よろしくお願いいたします。

再任教諭国語 **深見 稔** 先生（愛知商業高校より）
私は中村高校を45年前卒業させてもらった者です。それで言わば母校に45年ぶりに戻ってきた感じがしました。自分が高校生の時のことを思いやると、楽しい思い出が蘇ってきます。この中村高校で育っていった自分とその時の友人達が懐かしく思い出されます。

再任教諭国語 **杉藤充彦** 先生（昭和高校より）
中村高校には15年ほど前に勤務していたことがあり、懐かしい感じがしています。昨年は昭和高校で2年生を教えていたので、今年は3年生を担当するということで、何かつながっているようで、それも嬉しい氣がしています。よろしくお願いいたします。

再任教諭数学 **安保伸子** 先生（五条高校より）
中村高校で授業を始めて3週間、みなさんの素直さと明るさに魅力を感じます。高校卒業後や10年後の自分の姿を考え努力するみなさんのために頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

再任教諭理科 **高崎俊司** 先生（旭丘高校より）
前任校が長かったので、何もかもが刺激的で、浦島太郎状態です。できるだけ早く適応して、この1年間学習指導を中心に頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

再任教諭理科 **村上晴一** 先生（愛知総合工科高校）
自主性と同時に自律の精神をもって、勉強・部活・行事など様々なことに挑戦していく生徒諸君を全力で応援したいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

再任教諭英語 **国枝由美子** 先生（一宮南高校より）
校内のそこかしこで伝統の感じられる中村高校に勤務することになりました。生徒の皆さんが、先輩の残した足跡を感じながらもそれぞれ自分の道を切り開いていけるよう、その努力の後押しをしてみたいです。よろしくお願いいたします。

期限付英語教諭 **米谷幸平** 先生（岩倉総合高校より）
名古屋市守山区の小幡緑地公園の近くから自動車です。中村高校は以前教員採用試験の会場で来たことがあります。そのときはとても遠く感じましたが、現在は意外と早く来る事ができています。学校への行き帰り車窓から見える景色を楽しみながら毎日通勤しています。今年度も3年生を担当することになりました。微力ではありますが生徒の力になればと思います。よろしくお願いいたします。

期限付保健体育教諭 **武藤光祐** 先生（中村高校より）
高校生として通った3年を含めると中村高校8年目になります。とても中村高校が好きです。昨年までの武藤らしさも持ちつつ、強い責任感をもってすごします。そして、一緒に成長できる1年間にしましょう！1年間よろしくお願いいたします。

臨時的任用教諭英語 **篠塚洸太郎** 先生（岩倉総合高校より）
今年度から中村高校で勤務させていただきます。国際教育に力を入れている学校なので私も全力で取り組んでいきたいです。またそれ以外にも生徒、学校に貢献できるように頑張りたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

期限付実習助 **山口優香** 先生（新規採用）
4月から中村高校で勤務することになりました。毎日が新しい発見で、楽しみながら日々を過ごしています。みなさんが安全で楽しく実験実習を行うことができるよう、サポートしていきます。よろしくお願いいたします。

令和元年度PTA常任理事



会 長	木村 幹雄	305 (前列中央)
副 会 長	近藤 英生	203 (前列左端)
	服部 智美	305 (前列右から2人目)
	小玉 礼	302 (前列右端)
書 記	渡邊 修	校長 (前列左から2人目)
	山内 八重	201 (中列右から2人目)
	太田 有美	107 (後列左から2人目)
会 計	伊藤 正明	教頭 (後列右から2人目)
	竹村 有加	206 (中列右から3人目)
監 査	寺西 有香	事務 (中列右端)
	今 藤彦	106 (後列左から3人目)
	田中 浩江	103 (後列右から3人目)
	佐野 好宏	教頭 (後列右端)
生 活 委 員 長	井上 有美	308 (中列左から3人目)
進 路 委 員 長	鈴木 弘江	303 (中列中央)
厚 生 委 員 長	岸本 輝美	303 (中列左端)
広 報 委 員 長	本多 尚代	305 (中列左から2人目)
	久野 雅人	総務部 (後列左端)

(敬称略)

令和元年度PTA常任委員会構成

	1 年	2 年	3 年	学校		1 年	2 年	3 年	学校
生 活	井伊谷亜季 101	金子久美子 202	安田 理恵 301	伊藤正明	厚 生	二塚ゆかり 101	佐々木由紀 202	佐藤 庸子 301	寺西有香
	成田 裕紀 101	中尾 陽子 202	干場 智佳 302	暮石全光		山田由紀子 101	片原 節子 203	堀 ひろみ 301	古旗恵子
	小川 洋子 102	光田 仁美 203	河上 成美 303	佐久間孝史		内藤 梨乃 102	小林 郁子 205	吉川 政子 302	小島慎子
	祝 陵子 103	久保田千夏 204	大桑 玲美 304	林 敦子		星野 理恵 102	飯田 福美 206	和田 美帆 302	
	山本 直子 103	○齋藤 裕子 204	小川 知美 304			川原さおり 103	○滝川 慈子 206	○岸本 輝美 303	
	原田 悦子 104	森 史香 204	伊藤 有香 306			野田 聖子 104	吉田 伴美 207	片岡 美穂 305	
	奥村千鶴子 105	日下部明美 206	朝比奈 香 308			阪野千恵美 104	山森 彩子 207	後藤 ゆみ 306	
	前出 玲 105	隈井佐江子 207	○井上 有美 308			高羽 ゆき 105	杉山 美幸 208	丹羽 厚子 308	
	向 久美子 106	富田由紀子 208	市川 美加 309			平原 聡子 106		埴田江利加 308	
	玉置 梓 107	渡邊小奈枝 208				加藤 葉子 107		成川 利佳 309	
進 路	植村 昌美 108				広 報	武藤亜紀子 107			
						竹内三千代 108			
	中野真喜子 101	山内万夕美 201	近藤 桂子 302	小出賢一		松尾 清子 101	井澤 雪江 201	加藤 美紀 301	佐野好宏
	柴田 宣枝 102	則武 良子 202	○鈴木 弘江 303	隅田 良		野田 美帆 102	鬼頭 優子 203	曾我 正之 301	久野雅人
	加藤 理絵 103	加藤 明美 204	橋本 思織 303	山口有里子		山崎 聖美 103	○伊駒真寿美 204	荻須隆文/紀子 303	安藤智紘
	田中佳保里 104	山崎 幸恵 205	伊藤 敦子 306			服部 まき 104	村越 浩子 204	外山 和子 303	
	原田くみ子 104	宮崎 洋子 205	楠田奈津子 306			梅田由紀子 105	鵜飼美也子 206	渡邊 明美 303	
	小林 有紀 105	多和 洋子 206	水野 奈苗 306			中越 叔子 105	杉本 明子 206	谷口 愛子 304	
	畠 伸子 106	酒井 幸江 208	木原美佐子 307			安田 亜古 106	鈴木 典子 206	水野 由紀 304	
	太田瑠弥子 107	田中由佳里 208	加藤 展子 308			ジニー・チェン 106	水野 春枝 206	○本多 尚代 305	
	榎木 由美 107	○西尾 知里 208	酒井ひろみ 308			井津 智子 108	安部麻結子 208	佐藤 君代 308	
	高橋 恵子 108		植山 美奈 309			坂野こずえ 108	水畑 裕子 208		

(常任委員長 ◎印、常任副委員長 ○印) (敬称略)

退職・転出職員

〈退職〉

岡田 佳美 (国語)
 北川 英俊 (理科)
 鈴木 雅彦 (数学)
 吉田 雅子 (英語)
 大矢 真菜 (期付実助)
 松本 英一 再任(用務員)

岐阜県立益田清風高校

〈転出者・転出先〉

山田 満貴 (教頭) 小牧南高校
 溝上 泰正 (国語) 五条高校

中島 奨悟 (数学)
 川口 恭子 (理科)
 礪部 敦至 (保体)
 中川美津子 (事務)
 牛山賀帆里 (事務)
 成田 公次 再任(国語)
 有田 淳市 再任(数学)
 松井 宏 再任(理科)
 大塚 高司 再任(英語)

緑丘高校
 旭丘高校
 熱田高校
 松蔭高校
 県庁
 熱田高校
 惟信高校
 熱田高校
 名南工業高校

(敬称略)

広 場

子どもたちとともに

PTA書記 太田 有美

本年度より、PTA書記を務めさせていただくこととなりました、1年生の太田と申します。不慣れな点もあるかと存じますが、皆様と協力しながらお手伝いさせていただければと思います。3年間どうぞ宜しくお願い致します。

さて、気持ちのいい新緑の季節も過ぎ、照りつける太陽も夏本番を迎えていることと思います。生徒の皆さんも新しいクラスや勉強にすっかり慣れた頃でしょうか。本年度は、5月1日に新元号・令和に改元されました。日本最古の歌集・万葉集（梅花の歌）から出典され「時は初春の令月（令＝物事のつやがあるように美しいの意）であり、空気は美しく、風は和やかで…」が直接関わる部分で、令和の年号には、人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味を込めたと発表されておりました。そのような時代に

なってほしいです。

たおやかさを感じる新元号ですが、一方で私たちや子どもたちの生活する現代は、めざましいスピードで変化しています。高齢社会を迎えた日本の中で、生活の中でもグローバル化やIT・AI技術の進化を感じ、今後、想像も追いつかない社会になっていくことを感じています。そのような社会の中では、柔軟に対応し進化する力がますます大切だと感じています。中村高校においても今年度より国際理解コースの新設や新学習指導要領に合わせた授業への取り組みなどの試みがあります。

幼さがあった子どもたちも学校生活を通して少しずつ自立しようとしています。保護者の皆さまも、自立と甘えとの狭間で揺れる子どもたちのサポートが大変ではないでしょうか。様々なPTA活動を通して、普段見る事のできない子どもたちの姿を垣間見ながら、保護者と学校、子どもたちの相互交流を深めるお力になれば、と楽しみながら活動していきたいです。

挑 戦

岩田 真侑

穏やかな春の訪れとともに入学式を迎えてから、あっという間に一か月が経ちました。新しい生活や新しい友達との出会いに、緊張や不安や期待の毎日をごしています。

そんな時、この作文のお話を頂きました。私は文章を書くのが決して得意な方ではないので引き受けようかどうか迷いましたが、入学式の日の担任の先生の「どんなに大変でも自分に与えられた仕事はチャンスだと思って引き受け、精一杯取り込む」という言葉を思い出し、頑張って挑戦してみようと思い書かせてもらう事にしました。

私は前期室長をしています。いろいろな中学校から集まり、せっかく同じクラスになれたのだから、室長としてどうすれば楽しいクラスにできるのかを考えました。それには男女を気にせず話しやすい関係をつくるために、まずは私がいつも笑顔でいることを心がける。そうすればみんなの懸け橋になれるのではないかと。クラスみんなの声に耳を傾けて、自分ひとりで考えたり、決めたりするのではなく、みんなで意見を出し合い、誰かが困っているときこそそそっと手を差し伸べ、協力し助け合えるような、笑顔いっぱいの楽しいクラスをつくり上げていきたいと思っています。



また高校三年間は、私たちが将来何をしたいのか、どうなりたいのかをしっかりと考えたり、またその夢に近づくために努力する事ができる時間でもあると思います。

何でもチャンス、何でも挑戦、何でも経験という気持ちをもって、失敗を恐れずに色々なことに取り組んでいきたいです。一日一日を大切に、これからの学校生活をみんなで協力し合って、たくさんの楽しい思い出ができればいいなと、今からとても楽しみにしています。